



検疫探知犬イメージキャラクター「クンくん」



◆こんな仕事をしています

動物検疫所は、日本各地の空海港において、家畜の伝染病の侵入を防止するための水際検疫を行っています。また、狂犬病やエボラ出血熱・マールブルグ病の侵入防止のために公衆衛生分野での検疫も行っています。さらに、きんぎょ、ホヤなどの水産動物やミツバチの検査も行います。検査対象は、生きている動物、畜産物、飼料用のわらなど多岐に渡ります。全国1本所8支所19出張所6分室ある職場は地域色も豊かで、海港・空港・国際郵便局、生きた動物の係留施設、精密検査室など、同じ職場とは思えないほど多様な職場環境です。

(写真：活躍している動植物検疫探知犬と職員ハンドラー)

◆職員数（定員）

- 動物検疫所全体 595名（令和7年度末 現在）
- 沖縄支所管内 25名（事務系3名・技術系22名）



◆採用について

農林水産省で実施される技術職員採用試験の受験が必要です。採用の対象となる職種には以下の2種類があります。

- 獣医系技術職員（国家公務員採用総合職試験（院卒者試験）相当）
 - 畜産系技術職員（国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）相当）
- 詳しくは動物検疫所ホームページの採用情報をご覧ください。



動物検疫所採用情報

◆勤務地・転勤について

動物検疫所は、1本所（横浜）8支所（北海道・東北、成田、羽田空港、中部空港、関西空港、神戸、門司、沖縄）及び19出張所が全国に設置されています。採用後は数年間隔で本所及び各支所・出張所間での転勤があります。

また、農林水産省本省や他省庁、独立行政法人等へ転勤となることもあります。

◆魅力

転勤に伴い各地に居住することにより、各地の地理、歴史、風習に詳しくなります。職員の出身地は様々なので、例えば冬にはおでんの具材について激論を交わすこととなります。（東海～西日本の人は“ちくわぶ”を知らない！）。

全国で500人強の小さな役所なので、一度転勤でお別れしても、またどこかで再会することもあります。

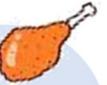
◆問い合わせ先

農林水産省 動物検疫所 沖縄支所
〒900-0001
沖縄県那覇市港町 2-11-1
那覇港湾合同庁舎 4F
Tel:098-861-4370
Fax:098-862-0093



動物検疫所 HP

先輩からのメッセージ



私は、大学で学んだ専門知識を活かし、日本の畜産業を守りたい、という思いから、動物検疫所を志望しました。

実際に働いてみると、動物検疫所の業務内容は幅広く、様々な視点から、水際検疫の重要性を実感することができます。旅客の携帯品検査、貨物で到着する畜産物や動物の検査、国際郵便物の検査を、空港や港といった水際の現場で行うことで日本の畜産業を守っている、とやりがいを感じています。

また、全国異動により、その土地の良さを知り、様々な人と出会い、新たな業務に携わることができるのも動物検疫所の魅力の一つです。（令和4年度入省畜産系技術職 M.Y.）

1日のスケジュール（例）

- 8:30 出勤
- 午前 国際郵便物検査
輸入畜産物の書類審査
- 12:00 昼休み
- 午後 輸入畜産物の書類審査
- 14:00 クルーズターミナルでの携帯品検査対応
- 17:00 退勤

